

いわき図書館サービスネットワーク (I-TOSS)

～市内大学・高専図書館との連携～

いわき総合図書館（福島県いわき市） <http://library.city.iwaki.fukushima.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	いわき市平字田町120番地
電話番号	0246-22-5551
人口（図書館が所在する市町村）	327,890人
職員数（うち有資格者数）	54名（28名）
蔵書数	699,447冊
登録者数	119,270人
年間貸出冊数（H24）	1,478,204冊

目的・趣旨

市内にある図書館が相互に連携を図り、利用者等の生涯学習・教育・研究活動の推進に資するために、協定を結んだ。

取組概要

平成22年7月に、いわき市立図書館は、市内にあるいわき明星大学図書館、東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館、福島工業高等専門学校図書館と協定を結び、相互協力体制を取った。

＜協定の内容＞

- ※図書館資料・サービスの相互協力に関すること
- ※職員の相互研修に関すること
- ※その他必要と認める連携協力に関すること

市立図書館が保有する巡回車のルートに3つの大学・高専図書館を加え、相互の資料を搬送している。



特徴

大学・高専図書館は、予約をかけた市立図書館の資料の受取窓口となるほか、相互に他館貸出資料の返却取次ぎも行っている。

資料の搬送が週1～2回であるための不便さはあるものの、図書館までの交通費や相互貸借申込にかかる送料の負担がかからないなど、利点は大きい。

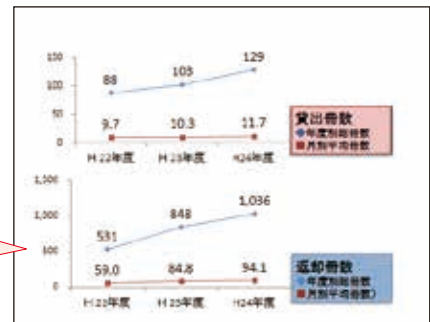
市立図書館の蔵書へのアプローチがしやすくなることから、大学・高専の教職員、学生、近隣住民の読書環境の向上が期待される一方、大学・高専図書館で保有する専門書へのアプローチもしやすくなるため、一般市民の自学自習や課題解決を支援する環境の整備にもつながるなど、期待される効果は計り知れない。

同じ地域に立つ図書館の連携は、職員相互に顔の見える交流の端緒となったが、協定締結後も、定期的に担当者会議を開き、情報交換と課題解決を図っている。

* 3年間の実績をみると、返却スポットとしての活用度が高まっていることがわかる。



↑シンボルマーク



I-TOSS 年度毎の貸出・返却冊数の推移

取組の成果と今後について

市内の図書館が連携したことで、利用者の利便性は格段に向上した。資料のやり取りだけでなく、相互にイベント情報を交換したり、いわき総合図書館では、ティーンズコーナーの特設棚に大学や高専の学校案内のパンフレットやDVDなどを置くなど、事業のPRにも協力している。今後も、各図書館の事情に配慮した連携スタイルを堅持して、図書館サービスの質の向上に取り組んでいきたい。